

製品名: IL-15 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00540**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	-

抗原情報

遺伝子名	IL15
別名	Interleukin-15 (IL-15)
遺伝子 ID	3600
SwissProt ID	P40933
免疫原	アミノ酸配列範囲: 111-160 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

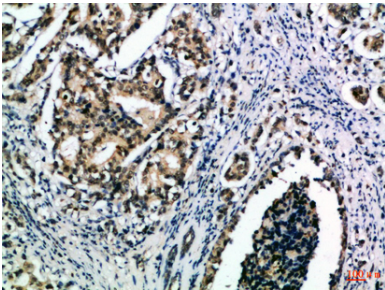
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、T細胞およびナチュラルキラー細胞の活性化と増殖を制御するサイトカインである。このサイトカインとインターロイキン 2 は多くの生物学的活性を共有している。これらは共通のヘマトポエチン受容体サブユニット

に結合し、同じ受容体をめぐって競合し、互いの活性を負に制御する可能性がある。CD8+メモリー細胞の数は、このサイトカインとIL2のバランスによって制御されることが示されている。このサイトカインは、JAKキナーゼの活性化、および転写活性化因子STAT3、STAT5、およびSTAT6のリン酸化と活性化を誘導する。マウスの対照研究から、このサイトカインは、おそらくSTAT6の転写活性化活性を介して、アポトーシス抑制因子BCL2L1/BCL-x(L)の発現を増加させ、その結果アポトーシスを阻害する可能性が示唆されている。この遺伝子の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されている。

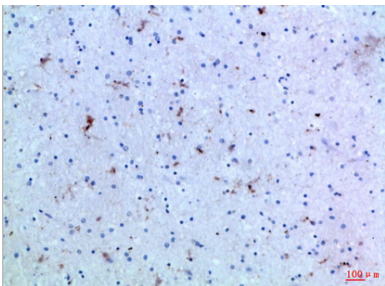
研究分野

免疫学

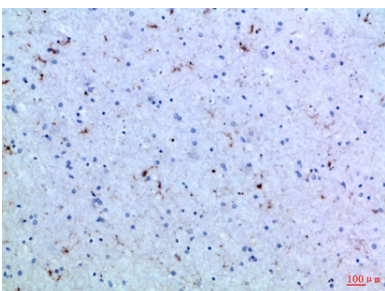
画像データ



IL-15抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



IL-15抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



IL-15抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。